

春を感じる暖かな日が多くなりました。自転車ですっそうとお出かけの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。雪国育ちの私は春の到来がうれしくて、ママチャリの前と後ろに二人の子どもを乗せて春を探しに行った子育ての頃を懐かしく思い出します。当時の子ども用座席はとても貧弱で、ヘルメットなども無く、今思えば冷や汗ものでした。事故もなく無事に過ごせたことを有難く思います。



先日、歩いていて、幼稚園ぐらいのお子さんが自転車の前座席に一人で座っているところに出くわしました。お子さんはとてもお利口に動かず座っていたのですが、心配のあまりその場を離れることができませんでした。お母さんは10数メートル離れたところの自動販売機で飲み物を買って戻ってきました。

幼稚園や保育園の送迎に自転車を利用の方も多そうですね。最近、子ども関連施設に向けて国から「自転車の転倒事故からお子さまを守りましょう」と言うお知らせが来たのでご紹介します。

～幼児乗せ自転車を安全に利用するためのポイント～

停車中の転倒事故を防止するために

1. まずヘルメットをかぶせる⇒乗車させる⇒シートベルトをしっかり締める
2. 子どもを前の座席に乗せた状態はとても不安定
3. 転倒につながる危険はここに
 - ・荷物はバランス良く。ハンドルにぶら下げることがやめましょう
 - ・わずかな傾きにも注意
 - ・子どもを乗せたら決して目や手を離さず、いつでも支えられる体制で
 - ・幅が広くしっかりしたスタンドの自転車を選び、ぐらつきがないか時々チェックを

運転中の転倒事故を防止するために

車道と歩道の段差は要注意。段差の乗り越えは避けるか、ゆっくりと大きな角度で！

幼児乗せ自転車の選び方(ハンドルのふらつきや転倒の危険を少なくするために)

- ・子どもを1人乗せる場合は、「後ろ乗せタイプ」が望ましい
- ・子どもを2人乗せる場合は「前乗せタイプ」を選び、後ろ座席を追加するのが望ましい

普段の点検で注意するポイント

総重量が大きいので、しっかりブレーキが利かないと目標位置で停止できません。ブレーキの定期点検が大事です。

